

## 市長発言要旨

### 【発表事項】

#### 株式会社キムラ自己破産申請について

昨日午後、株式会社キムラの木村吉孝社長の訪問を受け、同日中に自己破産の申請手続きに入ること、したがって、本日から営業を停止することの報告を受けました。

創業以来、本市の台所として親しまれ、市内5店舗のスーパーマーケットを展開しているキムラが破産したことは、非常に残念であります。ここ数年、5期連続赤字など経営が厳しい状況は承知しておりました。

私としては昨年市長に就任して以来、学校給食の取引拡大を進めるなど、本市としても地場スーパーを一段と応援する体制でありましたので、事業の継承なり、再建を期待しておりましたが、廃業となったことは、地域社会、経済にも大きな影響があり、残念であります。

同社の食材は、学校給食、保育園、介護施設や病院などにも納入しており、こうした供給が途絶えることについて、社長本人からも謝罪のことばがありました。

まずは、本市としては、雇用問題や地域社会への影響をできる限り抑えることができるよう、商工会議所、国、県など関係団体と連携をとって対策をとってまいります。

昨日の段階で、関係部署に私から指示をし、また、今朝の庁議でも、対応方針について確認、指示したところです。

現時点での状況の概要ですが、まずは、パートを含め200人の社員さんたちの雇用問題、再就職であります。本日午後に、各関係機関で情報を共有したところであります。今月中旬にハローワーク主催の説明会が行われると聞いておりますので、本市としても協力していきたいと考えています。また、学校給食への影響ですが、小学校14校中11校、中学校7校中5校が影響を受けることになるため、昨日夕方、対策を講じるように各校に連絡、本日までに調整を行ったところであります。市内の小売店の多大なるご協力で、12月中の学校給食の物資については確保できるめどがついた、との報告を受けております。なお、年明け以降の供給体制については今後検討していくことになります。

駅前、中央など5か所ある店舗の今後については、本市として、何ができるのか、関係部署に指示し、検討に入ったところです。

市として、行政として、主要債権者たる米沢信用金庫とも連携を取りながら、破産管財人とも必要に応じて連絡を取りながら、今後について対応を検討してまいります。

本市としましては、情報収集に努め、市民のみなさんに寄り添った対応を速やかに講じてまいり所存であります。